



成果指標				
成果指標	交通安全施設設置箇所数(修繕含む)			
指標設定の考え方	安全な交通網の構築という観点から、交通安全施設の設置数を成果指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	54	45	0	0
実績	51	43	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	限られた予算で最大の効果を発揮するためには、地元からの要望等情報の共有を図り、優先順位を定めた計画に沿った予算の円滑な執行が重要ある。また、既存の交通安全施設の適切な維持管理と更新にも努め、管理道路の事故防止・交通安全の確保を行う。(継続)			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地元要望に対し必要性や緊急性の検討を行い施設整備に努める。なお、当事業は交通安全対策特別交付金を活用しているため、市道での施設整備としている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	